●国立代々木競技場

1964年（昭和39年）の東京オリンピックの開催に備えて建設された国立代々木競技場は、同大会のサブ会場として使用されたもので、メインアリーナとなる第一体育館、第二体育館（別館）さまざまな競技が行われました。

オリンピック後も同競技場ではさまざまな大会が開催されています。また、第一体育館ではコンサートなどのイベント会場といても利用されています。

第一体育館は、NHKのお昼のニュースなどで映されているので見たことがある人も多いと思います。建築家丹下 健三氏の代表作で、美しい吊り屋根構造が特長です。第二体育館は円錐形の天井が見事な、すり鉢状の体育館となっています。

●岸記念体育館

岸記念体育会館（Kishi memorial gymnasium）は、第2代大日本体育協会（現在の公益財団法人日本体育協会）の会長だった岸清一の遺言により100万円（現在の約28億円）の寄付を受け、年1940年に東京府神田駿河台に建設され、1964年の東京オリンピックの開催に合わせ、現在の地に移転しました。

公益財団法人日本体育協会の本部が置かれているほか、各種競技団体の本部や事務所が置かれており、日本競技スポーツの総本山的な場所になっています。一方、建設から45年が経過している建物は老朽化が進み、耐震設計上の観点から心配視する声や疑問の声が上がっています。このため、すでに複数の競技団体が本部や事務所を移転させています。

2011年の日本体育協会創立100周年を機に建て替えの話もありましたが、現在の場所は東京都の都市計画公園の指定を受けている関係で建築物の規制が厳しいため、検討作業は難航しています。このため、他の場所に移転をするという話もあります。